

自治会長会「湖南市区長会視察研修」について

自治会長会事務局（総務課総務室）

（目 的）

他市町村の自治会活動の状況を視察研修することで本町自治会の現状と課題を再認識し、今後の自治会運営並びに自治会長会事業の参考とすることを目的とする。加えて、町が友好交流を進める滋賀県湖南市との交流推進へ寄与することも目的とする。

（視察先）

滋賀県湖南市 区長会

（視察内容）

- ・ 湖南市における自治組織の現状と課題について
- ・ 区長会の運営形態について

（日 時）

期日未定（2月下旬～3月上旬）、1泊2日。

（個人負担概算）

15,000円程度（宿泊費、食事代ほか）

（参加申し込み）

期日決定後に案内・募集を行います。

《 湖南市概要 》

湖南市は、平成16年10月に、旧石部町と旧甲西町の2町が合併し誕生しました。人口は55,271人、世帯数は21,730世帯です。（平成23年6月1日現在）

湖南市は滋賀県南部に位置し、大阪、名古屋から100km圏内にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあります。

南端に阿星山系を、北端に岩根山系を望む丘陵地で、これらの丘陵地に囲まれて、地域の中央を野洲川が流れています。野洲川付近一帯に平地が開け、水と緑に囲まれた自然環境の恵まれた地域です。地形は、平地、丘陵、山林に分かれ、特に山林が全土地面積の5割強を占めています。

古くは近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道として栄え、江戸時代には石部に東海道五十三次の51番目の宿場がおかれ、これを中心とした街道の産業や文化が栄えました。近年は、名神高速道路の開通によって、栗東インターチェンジ、竜王インターチェンジ等を活用して県下有数の工業団地が立地しています。国道1号とJR草津線が地域を東西に走り、当地域には石部、甲西、三雲の3駅があります。これらの交通基盤によって、京阪神の都市圏への通勤通学に便利な立地となり、京阪神のベッドタウンとして住宅地開発が進みました。

奈良時代の昔から現代に至るまで、常にこのような交通の要衝として発展し続け、さらに気候が温暖な上に、野洲川を中心に開けた平野に恵まれたこともあって、様々な産業と文化を育んできました。

都市規模は、東西に12.7km、南北に18.3kmの広がりを持ち、行政面積は70.49km²で県土4,017.36km²の1.75%です。